

道徳科学習指導案

- 1 日 時 令和元年10月11日(金) 第2校時(9:50~10:40)
- 2 学 年 第2学年 19名(男子9名, 女子10名 合計19名)
- 3 主題名 「家族への敬愛」(内容項目C(14) 家族愛, 家庭生活の充実)
- 4 ねらい ノートに綴られた祖母の思いを知り, 祖母と並んで草取りをする主人公の心の動きについて考えるを通して, 家族を敬愛し, 家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築こうとする道徳的態度を育てる。
- 5 資料名 「一冊のノート」 出典(中学生の道徳 自分を考える2: 慶済堂あかつき)

6 主題設定の理由

- 本主題は, 内容項目C(14)「父母, 祖父母を敬愛し家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。」を基に設定したものである。

人は, 遠い過去から受け継がれた生命の流れの中で生きている。今の自分があるのは, 祖父母や父母がいたからであり, かけがえのない子どもとして無私の愛情をもって育てられたからである。子どもたちの家庭を取り巻く状況は様々であるが, 家族の中で互いが深い愛情や温かい信頼関係で結ばれていることが大切であるという自覚をもつことが必要である。その自覚をもつことが, より充実した家庭生活を築くことにもつながる。

中学生の時期は, 自我意識が強くなり, 自分の判断や意志で行動しようとする自律への意欲が高まっていく。そのため, 家族から自分への指示や注意を押しつけと受け止め, うっとうしく感じるが多くなる。さらに, 家族からのちょっとした忠告や叱責が, あたかも自分の存在を否定されたように思えて, 反抗したくなる時期でもある。また, 少子化や核家族化などが進んだことにより, 様々な人間関係の中の体験によって, 人との関わり方や交わり方を学ぶ機会も減っている。だからこそ, この時期の生徒に, 自分は父母や祖父母の深い愛情を受けて育てられたことに気付き, 家族への敬愛を深め, 家族の一員として互いに支え合っていくことが充実した家庭生活につながっていくことに気付かせるということは大切なことである。

～生徒観省略～

事前意識調査 (8月9日実施 19人)

～省略～

○ 本教材は、祖母と同居する中学生が主人公の話である。今まで、自分や弟の面倒を見てくれていたしつかりものの祖母が、認知症になり物忘れがひどくなってきた。季節外れの服装で外出したり、家の中の品物を頻繁に紛失したりするためトラブルが絶えない。主人公は、老いが進む祖母を心配しつつも、その言動にいら立ちを感じたり、どうにもならないもどかしさを感じたりし、祖母への接し方について思い悩む。そんな中、主人公は祖母の書いた一冊のノートを見つけたことをきっかけに、祖母が自ら認知症に苦悩しながら、家族のことを思い続ける心情に触れ、祖母の苦しみや自分が受けてきた深い愛情に気付く。主人公が、祖母とのかかわりに思い悩みながらも、祖母への理解を深めていった姿を通じて、家族は深い愛情によって結ばれていることに気付き、家族の一員として互いに支え合って生活していくことの大切さを考えることができる教材であり、次のように指導する。

導入では、本時のテーマである「家族」に関する事前アンケートの結果を提示し、学習の見通しをもたせる。

展開では、まず、物忘れがひどくなる祖母に対する主人公の心情を捉えさせる。次に、外で話しかけてきた祖母を無視して帰宅した主人公の思いについて自分ならどうするかを考えさせ、主人公の心情に共感させ、自分本位な考えに気付かせる。

中心発問では、「一冊のノート」に綴られた祖母の思いを知り、ぼつんとにじんだインクの跡を見た時の主人公の心情を考え、祖母への謝罪の言葉だけでなく、これまで育ててくれたことや、祖母の支えのおかげで両親が働きに出られて家族を支えてくれていたことへの感謝の気持ち、これから自分が祖母をささえていこうという意欲に気づかせられるよう、なるべく多くの生徒に発言を促し、共有化を図ることによって道徳的価値についての自覚を深めさせる。

振り返りでは、学習を通して新たに気付いたことや友達の意見を聞いて気付いたことなどを書かせ、学びを深めさせていく。

7 大会主題との関連

～省 略～

～省 略～

8 授業UD化に向けた手立て（支援）

全体への手立て（◇）	支援を要する生徒への手立て（◆）
<p>◇導入時に「家族に腹が立ったのはどんなときか」という発問をし、事前アンケートの結果を円グラフで示し、ホワイトボードに掲示して残しておく【視覚化】 「家族」について考える視点を明確にする。 【学習内容の焦点化】</p> <p>◇資料を①②に分割して朗読をする。 【資料提示の視覚化】 各場面や人物のイラストを掲示し、場面発問の理解を補助する。【発問の焦点化】</p> <p>◇【展開1】において、心情円盤を使って自分の考えを明確にさせる。 【思考の視覚化】 全員起立して種別による「似た考え」を発表させていく。【話し合いの視覚化】</p> <p>◇ペア・グループ学習を取り入れ、自分の考えを発表する場面をつくる。 【思考の共有化】</p>	<p>◆アンケート結果から意図的に指名する。</p> <p>◆机間指導で資料の朗読を確認する。資料の場面や人物についてイラストで理解を補助する。 【資料提示の視覚化】【発問の焦点化】</p> <p>◆【展開1】において、心情円盤を使って自分や他者の考えを明確にさせることで、判断した理由についてペアで対話させやすくする。</p> <p>◆机間指導で話し合いが発問に対する思考の一助になるよう関連する質問や確認を入れて深めさせ、意図的に指名する。 ワークシートの記述にチェックを入れて、発言させたい内容のポイントを示す。【思考の視覚化】</p>

9 準備物

資料①② 場面絵, ワークシート 朗読CD

10 学習展開

	学習活動	主な発問と生徒の心の動き (主な発問(○) 中心発問(◎) 予想される生徒の反応(・))	指導上の留意事項と評価 (全体の留意事項(◇)評価(・)(評価方法) ◆支援を要する生徒への手立て
導入	1 事前アンケート結果をもとに考えることで、本時の学習の見通しをもつ。	○「あなたは家族に腹が立ったことがありますか。」 ・挙手 発表 ・事前アンケートの結果を提示し、理由を数名に意図的に質問する。	◇事前アンケートの結果を円グラフで提示し、自分の考えと他の生徒との考えを比較させる。 事前アンケートの結果を円グラフで示す。 ◆いつでも見られるように側面のホワイトボードに掲示しておく。【視覚化】 「家族」について考えるということを明示し、考える視点を明確にする。【学習内容の焦点化】
展開1	2 資料を読む 物忘れがひどくなる祖母に対する「ぼく」の心情を捉える。 祖母の病状を聞いてから怒らないようにしていたが激しく祖母を罵った。「ぼく」	○「ぼく」は祖母に対してどんな気持ちがあるのだろうか。 「物忘れ (家の中で)」 ・迷惑 余計なことはしないで欲しい ・しっかりしてよ どうして忘れるのか ・何回も同じこと繰り返して頭に来る。 「学校の帰り (薬局の前で)」 ・自分の家族と思われるのが恥ずかしい ・話しかけられるのがうっとうしい 「父から話を聞いて」 ・言ってもしょうがない。(無駄。あきらめ。) ・父さんは被害を受けてないから分かっていない。 ・迷惑だけど、どうにもならなくて寂しい。 ○父から祖母の病状を聞いて怒らないようにしていた「ぼく」が激しく祖母を罵った。その時の「ぼく」の気持ちはどんなだろう。(心情円盤：ピンク (怒り) ブルー (許す) にあらわしてみよう)	資料①の朗読 (途中 P116 16行で止める) 資料を分割して朗読をする。【資料提示の視覚化】 ◇物忘れがひどくなる祖母に対する「ぼく」の不満や怒りの気持ちを捉えさせる。 イラストを掲示し、場面発問の理解を補助する。【発問の焦点化】 【自分事として考える】 父から話を聞いて、「だけど…」の後、何も言えなかったのはなぜか。 ◇祖母の症状を理解しようとしながらも、自分本位な考えが残っていることに気づかせる。 ◇ペア (グループ) で自分の考えを出させて共有させ、意見発表させる

	<p>の心情を考える。</p>	<p>「ピンク」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気でも許せない。僕たちが迷惑している。 ・おばあちゃんのせいで友達の信用を失った。 ・悪気がなくてもひどい。我慢できない。 <p>「ブルー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気だから仕方がない。まあ我慢だ。 ・正直に友達に謝るしかない。(まいったな) ・おばあちゃんにさせない方法はないか。 	
<p>山 場</p>	<p>3 資料の続きを読む</p> <p>にじんだインクの跡を見た「ぼく」の心情を考える</p>	<p>◎ぽつんとにじんだインクの跡を見た時「ぼく」はどんなことを感じたのだろう。</p> <p>「おばあちゃんごめんなさい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあちゃんの気持ちを考えてなかったこと ・今までおばあちゃんの気持ちも知らずに冷たくしてきたこと ・おばあちゃんが老いていくことに対して不安に思う気持ちを理解できていなかったこと ・老いていくおばあちゃんの得手、不得手を理解する気持ちを持っていなかったこと <p>「おばあちゃんありがとう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祖母のお陰で両親が安心して働けたこと ・大きくなるまで育ててもらったこと ・いつもぼくの事を考えていてくれたこと <p>○どんな思いから「ぼく」は黙って祖母と並んで草取りを始めたのだろう。</p>	<p>資料②の朗読（途中 P116 17行から）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「ノート」のページを電子板で提示しイメージを掴ませる。【発問の焦点化】 【資料の視覚化】</p> </div> <p>◇ワークシートに記述させ、机間指導で内容を確認する。意図的に指名し、考えを共有し深めさせる。</p> <p>◆机間指導で感じていることを深める補助発問で文章化を支援する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【視点を変える】 ぼくはどんなことに謝っているのだろう。 ◇祖母を含め、家族はかけがえのない存在であることに気づかせる</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【視点を変える】 おばあちゃんの気持ちとはどんな気持ちですか ◇祖母が自ら苦悩しながら、家族のことを思い続ける心情に気づかせる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【視点を変える】 ぼくはどんなことに感謝しているのだろう。 ◇自分は家族の深い愛情を受けて育てられたことに気づかせる。</p> </div>

		<p>「申し訳ない」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気にかけてもらってばかりだったことに気づいたから ・自分が家の為になることをしていなかったことに気づいたから ・祖母が支えてくれていたことに気づいたから 	
展 開 2	<p>家族に対する価値と結びつけて考える</p>	<p>○これから、微笑みのある家庭を築くために何が必要なのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝の念 ・家族の一員としての自覚 ・愛情、思いやり ・家族を支える気持ち ・協力 ・団らん <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>意見を短冊にキーワードで書き説明のときに掲示する。 【思考の共有化】</p> </div>	<p>◇グループ交流で出た意見を短冊にキーワードで書き記して発表させる。</p> <p>◆意見交流の基本ルール（「高まるタイム」方式）で交流することを確認する。</p> <p>・家族を敬愛し、家族の一員として自覚をもつことの大切さに気付いている。 (発言・ワークシート)</p>
振 返 り	<p>4 今日学習で学んだことを書く。</p>	<p>○自分の家庭で自分にできていることはどんなことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手伝い ・何でも話す、困ったら相談する ・言うことを素直に聞く <p>○また、さらにできることやこれからやろうと思うことはどんなことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝の気持ちをもって生活する。 ・家族を支える一員としての自覚をもつ ・お互いに愛情をもって優しく接する。 <p>○今日、友達意見を聞いて気付いたこと、思ったことも書きましょう。</p>	<p>◇本時の道徳的価値について新たに発見したことなど自分の考えをまとめさせる。</p> <p>◇導入で提示したアンケートにも触れ、自分の心の変化を明らかにさせる。</p>

11 板書計画

イラスト
草取り

- ・冷たく接してごめんなさい
- ・これまで世話してくれてありがとう
- ・これからはぼくが支えるよ 手伝うよ
- ・今まで見てもらった分、これからは僕が面倒を見るよ

これから、微笑みのある家庭を築くために何が必要なのだろうか。

父から祖母の病状を聞いて怒らないようにしていた「ぼく」が
激しく祖母を罵った。その時の「ぼく」の気持ちはどんなだろう。

ぼく

心情円

- ・おばあちゃんのせいで信用を失ってしまった。
- ・病気でも許せない
- ・いい加減にして欲しい。

イラスト
薬局の前

- ∴自分の家族と思われのが恥ずかしい
- ∴話しかけられるのがうっとうしい

一冊のノート

イラスト
祖母

- ∴幼い頃から世話してくれた
- ∴しつかり者だった

イラスト
ぼく

- ∴最近物忘れがひどい
- ∴しつかりして欲しい
- ∴迷惑している 頭にくる

外で見かけて「知らん顔」をした時

自分の家庭で自分にできていることはどんなことがありますか。また、さらにできることやこれからやろうと思うことはどんなことですか。

12 ワークシート

一冊のノート

名前 ()

◎ 最後のページにぼつんとにじんだインクの跡を見た時「ぼく」はどんなことを感じたのだろう

○ どんな思いから「ぼく」は草取りを始めたのか

○ 友達の見解

● 授業の振り返り

○ 自分の家庭で自分にできていることはどんなことがありますか。また、さらにできることやこれからやろうと思うことはどんなことですか。